

アプリ

オクリンク

# ローマ字

ねらい

ローマ字表記での日本語の音が、母音と子音の組み合わせで成り立っていることを理解し、日常使われている単語についてローマ字で読むことができる

## STEP 1

本時のめあてを確認

身の回りのローマ字表記(駅名・社名・地名など)で実際に看板などの画像を見て、身の回りにあり、日常でローマ字表記が存在していることを知る。

【発問1】ローマ字表をみて気づいたことを周りの子どもと話し合おう。

【発表内容】挙手で発表

・ひらがな表に似ている

・縦に見ると同じアルファベット(母音)が必ず2文字並んだ2文字目についている、横に見ると同じアルファベット(子音)が必ず2文字並んだ1文字目についている

・3文字で表しているところがある

・同じ日本語でも表し方が2パターンあるものもある(訓令式・ヘボン式)など

## STEP 2

### ◆めあて：ローマ字で日本語の言葉を表現しよう

ローマ字表記での日本語の音が、母音と子音の組み合わせで成り立っているという気づきをもとに、3つの活動をおこなう。

【発問2】ローマ字表を参考に、あ・か・さ行で作ることのできる言葉を母音と子音を組み合わせで作ってみましょう。

<操作説明> オクリンクのカードをコピーする方法、カードの中のアルファベットカードの使い方の説明(例:「かさ」→「k」「a」「s」「a」を組み合わせる)

<活動1>

①先生から子ども全員に向けてカードを送信

②先生から受け取ったカードで母音と子音を組み合わせで日本語を表現する

③アルファベットカードをコピーし、思いつく限り多くのカードを作成する

④作成したカードをつなげて、提出BOX1に送る

【発問3】他の子どもが作成したカードをMyボードにコピーして、よみがなを書いてみましょう。

<操作説明> 提出BOXのカードをMyボードへコピーする方法

<活動2>

①提出BOX1の友達のカードから、1人の提出物を選びMyボードへカードをコピーする

②コピーしたカードによみがなを書く

③提出BOX2へ送る

【発問4】読めなかったカード(スペルの誤りなど)はそのカードを作成した子どもにどのように間違っていて読めなかったのかを伝えよう

<活動3>

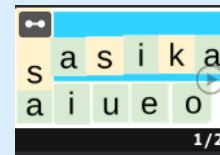
①直接伝える

②そのうえで変更点があればMYボード内で修正する

▶ 使い方動画 [提出されたカードを自分のボードへコピーする方法](#)

▶ 使い方動画 [複数のカードをつなげてひとつの資料にする方法](#)

「k」「s」「a」「i」「u」「e」「o」の画像パーツを3枚ずつカードの中に作成  
解答欄は水色、そこに子どもがアルファベットを配置し、言葉を作成

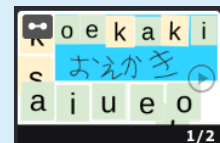


活動1: 子どもの提出物  
「あしか」

<活動2の提出BOX2>



活動2: 子どもの提出物  
「おえかき」



## STEP 3

【まとめ】提出BOXのカードをみんなで見ても、「ローマ字の決まりにしたがって、いろいろな言葉ができましたね。」と、理解できたことを確認

▶ 使い方動画 [提出されたカードの表示方法](#)